





去る9月6日役場会議室において「滝上町まちづくり審議会」の第1回会議が開催されました。

この審議会は、長屋町長の「多くの皆さんから多様な意見を聞き、町政に反映させたい。」との思いから開催されたものです。

会議に先立ち、町長から委員の皆様へ今後の活躍に期待している

**ま**すと、委員状が手渡され、議事に入りま

はじめに事務局から、まちづくり審議会委員の役割について説明がありました。

**ち**づくりに関して自由な議論をし、町長に提案をする。」

## 熱心な議論が交わされました 滝上町まちづくり 審議会報告

第2に「町長より行政全般やまちづくりに関して

の諮問に対して、調査・研究・審議を行い答申する。」この2つが主な職務となること、行政の各担当は、審議会の提案を元に事業実施のため

の検討をするこ

と、また、審議会は公開制で、議論されたことは、町議会、町民、行政各担当と情報を共有し、広報やホームページで公開されるという説明がありました。

現在、滝上町は産業振興や教育・福祉などさまざまな分野で課題を持って行政運営に当たっており、また、平成20年度には第5期滝上町一〇〇年祭（仮称）の実施など大きな仕事控えていることを審議の切り口として意見交換が行われました。

### 「滝上町まちづくり審議会 委員からの主な意見」

○町のホームページ情報の更新が遅いので常に新しい情報を掲載することや、インターネットをもっと活用すること。

○環境問題は、滝上町にふさわしいテーマである。わかりやすいテーマで、総合計画をスタートさせてはどうか。例えば、特に春先の滝上紋別間の牛の糞尿による臭いの対策なども、環境問題ということで取り組んではどうか。

○行財政改革について、お金がないばかりでは議論にならない。財政難であれば、町職員の削減やコスト削減案なども議論する必要がある。反面、町民のボランティア意識の高揚なども必要である。

アを求めてもらうか。そのためには住み続けるための産業・教育・医療・福祉などが充実していることが必要である。

○今年生まれた子どもが成長して、25年先に滝上町にとつてよりよい人材として帰ってくるのができ、定着することができかを考えて取り組むと良いのではない

最後に町長より、「これからの10年は、滝上が滝上であり続けるための10年と考えている。枠にとらわれず議論していきたいので多くの提案をして欲しい。」と話があり、年内に第2回審議会を開催することを確認して閉会となりました。

